

平成 21 年度 地域文化学（宮島学）

平成 21 年度より人間文化学部国際文化学科の授業科目として「地域文化学（宮島学）」を新たに開講しました。この授業では、日本史、日本文学、日本芸能史、中国文学、英文学などを専門とする教員がさまざまな視点からとらえた「宮島の魅力」について講義しました。21 年度は次のような内容でおこない、国際文化学科 2 年生を中心に 46 名の学生が受講しました。

《授業内容》

回	テーマ	担当
1	地域文化学（宮島学）の視点と方法	秋山 伸隆
2	平清盛の厳島信仰	松井 輝昭
3	平家納経に親しむ	西本 寮子
4	厳島神社の神仏習合	松井 輝昭
5	厳島信仰と法華経	樹下 文隆
6	厳島の舞楽に見るアジアの文化交流	柳川 順子
7	厳島神主家と神領衆	秋山 伸隆
8	戦国期の宮島の祭	大知 徳子
9	石見銀山と厳島神社	秋山伸隆・大知徳子
10	能楽の普及と宮島	樹下 文隆
11	厳島の神仏分離	松井 輝昭
12	江戸期の宮島の祭	大知 徳子
13	宮島に生まれ、生きて、そして今	広川 和男 (宮島彫伝統工芸士)
14	石風呂と桜狩—江戸時代の厳島詣—	西本 寮子
15	外国人が見た明治の宮島	天野 みゆき

特別授業は宮島彫伝統工芸士の広川和男さんをお招きしました。広川さんは江戸時代から続く宮島彫の唯一の継承者です。授業では、40 年近く伝統工芸の仕事に携わってこられた広川さんから実演を交えてお話を伺いました。



特別授業の様子